

3類型	鋳工業品の生産に係る技術	通巻番号	4 - 20 - 51
地域資源名	常滑焼	認定日	平成20年 7月 2日
地域	常滑市、半田市、知多市、東海市、大府市、東浦町、阿久比町、武豊町、美浜町、南知多町	所管省庁	経済産業省

事業名: 常滑焼のヨリコ造り技術を活かした陶器浴槽を中心とする水周り製品群の製造・販売

組合名: とこなめ焼協同組合

所在地: 愛知県常滑市栄町3丁目8番地

連絡先: TEL: 0569 - 35 - 4309
FAX: 0569 - 34 - 8893

H P: <http://www.japan-net.ne.jp/~yakimono/>

事業概要(新たな活用の視点)

・同組合では「常滑焼」の特徴的な技術「ヨリコ造り」(ひもづくり手法のひとつ)を活かし、浴槽という大型製品の製造を地域で初めて実現し、ホテル・旅館及び温浴施設を主たる顧客とした『陶器浴槽』や『手洗い鉢』を中心とする“浴室・洗面空間を演出する製品”(「フローライフ」ブランド)の製造販売を平成16年より開始した。
・常滑の陶器浴槽は、焼き締まりの良い素材で造られる為、汚れがつきにくく、また、陶彫技術によって加飾されたデザイン性が高いなどの特徴がある。
・平成16年に中部国際空港建設時に納めた「大型プランター」の製作技術のノウハウを新しい分野に展開することがきっかけとなった。



売れる商品づくり(競争力、市場性、販路)

競争力

・常滑焼は古くから大型の壺や甕、大型土管など素地を硬く焼締める製造技術に優れており、製品の牽牛さや重厚感を持っているところが差別的な優位性となっている。

市場性

・ライフスタイルの変化に伴い、日常生活における癒し、和み、健康などモノから精神的な満足を求める傾向が強まっている中、浴室の個性化もその流れの中で注目を集めている。特に浴槽周りにこだわりを持つ需要層をターゲットとするとともに、ホテル・旅館といった温浴施設等の業務用市場の拡がりも視野に入れる。

販路

・販路としては、温浴施設等の業務需要者には展示会などで商品のPRを重ね、認知度を向上させる。また、浴室周りのリフォームや取り付けを中心に事業を営むガス器具販売店での取り扱いを実現することで、中小工務店・設計事務所などを通じて個人客層へ販路を拡げる。

地域における関係事業者等との連携

・同組合は、地域の関連事業者(商工会議所、県・市等の行政)等との連携が深く、今後も、更に関係者との協力・連携関係の強化を図りながら事業を進めていくこととしている。